

## 活 動 記 録 書

開催日： 平成 30 年 3 月 1 日(木) 天候 晴	開催テーマ： 梅薫る六浦路から二階堂を歩く
開催場所： 十二所・浄明寺・二階堂	記入者： 杉山 茂
参加人数：	
会 員	男 22 名 女 4 名 計 26 名
ビジター	男 名 女 名 計 名
合 計	26 名
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）：	
<p>コース：泉水橋バス停 ⇒明王院 ⇒足利公方邸旧跡 ⇒浄妙寺 ⇒フレンドリー鎌倉(昼食) ⇒瑞泉寺 ⇒荏柄天神社</p> <p>朝方の荒天がうそのような絶好の探訪日和となった、最初の訪問先、明王院は鎌倉幕府四代將軍藤原頼経の発願により、政所から鬼門に当たる当地に、鬼門厄除けの祈願寺として、五大明王を祀り嘉禎元年（1235）に創建された。当初の明王はそれぞれの堂に祀られていたのが、五大堂と呼ばれ所以である。寛永年間（1622～44）の火災で不動明王以外は焼失し、その後再建された。現在は茅葺き屋根の本堂に不動明王を中心に一緒に祀られている。</p> <p>足利公方邸旧跡は鎌倉幕府が開かれたとき、足利義兼が居宅と定め、以後子孫が二百数十年間住み続けた所である。今は住宅地となっているなか、鉱泉跡・前方の山を富士山に見立て作られた池跡・御馬冷場跡などを巡り浄妙寺へ向かった。</p> <p>浄妙寺は足利義兼が文治 4 年（1188）に真言宗極楽寺として創建され、後に臨済宗に改宗された。元弘 3 年（1331）足利尊氏が父貞氏を葬り、貞氏の法名から浄妙寺と改名されたといわれ、室町時代には鎌倉公方足利氏の菩提寺となり繁栄した。起(むくり)と呼ばれる独特の屋根を持つ仏殿には、本尊の宝冠釈迦如来が祀られている。他に、現在の石窯ガーデンテラス付近には、足利尊氏の異母兄弟高義の供養のため建てられた延福寺があったとされる。その地続きには衣張山が一望できる庭園がある。</p> <p>昼食はフレンドリー鎌倉で春の陽光を浴びながらの昼食であった。</p> <p>瑞泉寺は夢窓疎石がこの地を禅院相應の勝地として選び嘉暦 2 年（1327）瑞泉院として建立し、後に瑞泉寺と改められた。本尊は釈迦尼仏。本堂裏にある庭園は岩盤を削り、作り出された岩庭で、南北朝期の庭として貴重なもので、発掘復元され国の名勝に指定されている。花の寺として知られているが、鎌倉市指定天然記念物「オウバイ」は見頃であった。</p> <p>荏柄天神社は荏草郷(えがやごう)と呼ばれた里で、にわかにかき曇った天から天神画像が降ってきたという、里の人々は恐れ、降臨した場所に社殿を建て、その画像を祀ったとされる。創建長治元年（1104）。本殿(国重文)は、鎌倉時代末期に建てられた貴重な建物で、鶴岡八幡宮若宮社殿を移築したものといわれている。</p> <p>テーマ「梅薫る六浦路から二階堂を歩く」のとおり、春の陽光の下、行く先々で多くの種類の梅を愛でることができた寺社巡りであった。</p>	
参加者の状況・意見など：	
朝方の荒天のせいか参加者が少なかった。明王院の境内写真撮影禁止は残念であった。	
次回の予定：	
4 月 5 日（木）10 時 大船駅西口集合 テーマ「大船の桜」	